



修復を終え厨子の彩色も鮮やかな本堂塩断ち阿弥陀如来



修正会結願で御香水を汲む香導師



修正会結願に参列した信者たちに授与される御香水



願いをこめ除夜の鐘を撞く参拝者たち



月照・信海両上人に献茶が行われる落葉忌法要



2019年「今年の漢字」を揮毫発表する森貴主



25回目を迎えた「今年の漢字」奉納法要



令和2年絵馬3種

清水第二一八号 目次

表紙題字・良慶和上筆 表紙写真・花餅が供えられた正月の本堂

大いなるものに抱かれることを 北法相宗管長 森 清範 :

大西良慶和上法話「唯識の觀」(5) 清水寺貫主 :

子安塔御本尊が68年ぶりに還座 泰産寺住職 森 清顕 :

台風被害の倒木から製作の念珠授与 青龍会20周年記念に盛大な祝賀会開催 :

善光寺堂は幕末期に横井夫妻が創建 清水寺学芸員 坂井輝久 :

青龍会20周年記念に盛大な祝賀会開催 24

青龍会・外伝 2 マフィア・コーポレーション主宰 岩田カズヒロ :

五明洞淨墨 42

『四十手深要決義』を読む 第15回 清水寺執事補 森 清顯 :

『成就院日記』翻刻・刊行にあたって(2) 清水寺史編纂委員 下坂 守 :

本堂・奥院内法長押裏からの遺物 2 清水寺技師 白石悦一 :

成就院前寺庭婦人 大西眞澄刀自逝去 36

発祥の地・安来で清水寺ネットワーク会議大会 51

大会法要に随喜して信者参拝団が一泊一日の旅 52

25回目「今年の漢字」森貫主が「令」と揮毫 58

消防設備が完成 合同の文化財防火訓練実施 68

建碑25周年、阿彌流為・母禮慰靈法要を奉修 78

乳がんキャンペーンでピンク色にライトアップ 83

那須音羽の会5周年で特別講話会を開催 88

田村麻呂公ゆかりの慈心院護持会一行が来山 91

津軽音羽会がもち米300キロを奉納 93

内外往来
編集後記

大いなるものに抱かれあることを

清水寺貫主 森 清範

令和の新時代を迎えて、昨年秋は皇位繼承に伴う儀式や祝賀行事がずっと続いておりました。その令和元年も紅葉の季節が過ぎて師走となり、そして新春を迎えて令和二年となつております。ちょっと季節を振り返りながら話をしてみたいと思います。

清水寺は紅葉の名所であります。今日では大変よく知られており、新聞などの紅葉案内欄には必ず清水寺が入っております。毎日「色つき始め」「一部見ごろ」「見ごろ」というように順々に案内されて出ています。月照・信海さんを追善供養します十一月十六日の落葉忌を営むころになりますと、お参りがてらに「紅葉見物に行こか」という人が増えてまいります。清水の舞台から眺める紅葉の景色はまさに観音さまの淨土であります。

ところが、江戸時代はどうも事情が違っていたよ



森清範貫主

うです。貞享二年（一六八五）に出ました京都の案内書に『京羽二重』というのがあります。その中に「洛陽十景」といって京都の有名な風景を十ヵ所選んで並べています。清水寺は入っているかなと見ますと、一番目に出できます。「清水仏閣」とあります

す。東山の山並みに鮮やかに見える堂塔が美しく、
その景色がいいというのです。さらに東山地域だけ
の「東山十景」というのもあります。そこには「清
水白桜」と書いてあります。清水寺は桜の花が一番
いいと取り上げられているのです。



森實主の子年色紙「弥須美淨土」

先人先輩諸氏が植えた紅葉

それから清水寺だけの見どころを集めた「清水十景」というのもあります。見てみると第一に「古崖懸泉」と書いてあります。これは崖に滝が流れ落ちているということですから、音羽の滝です。「春巖開花」、ゴツゴツした山肌に春には花が咲くというわけで、桜の景色です。「音羽畠翠」、音羽山の鬱蒼とした樹木の緑が美しいと言っています。「春疎鐘」、隣山であります靈鷲山の眺めとそこから聞こえてくる鐘の音がいい雰囲気だというわけです。「洛陽万戸」、清水寺から京都の家並みがずっと見え実にいい眺めだと入れています。「鴨川一帯」、鴨川の流れが一筋の帶のように美しく見えたのです。今では建物の陰になつて見えません。「東郊烟雨」、東山の麓の景色が霧雨にボーッと煙つて絵に描いたように見えました。「西門遠眺」、西門から遙かに見渡す光景は実に素晴らしいのです。「右嶺晴雪」、愛宕山に雪が降つて晴れますと青空にくつきりと浮かんで見事な景色です。「龜阜暮靄」、夕暮れに嵐山公